

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

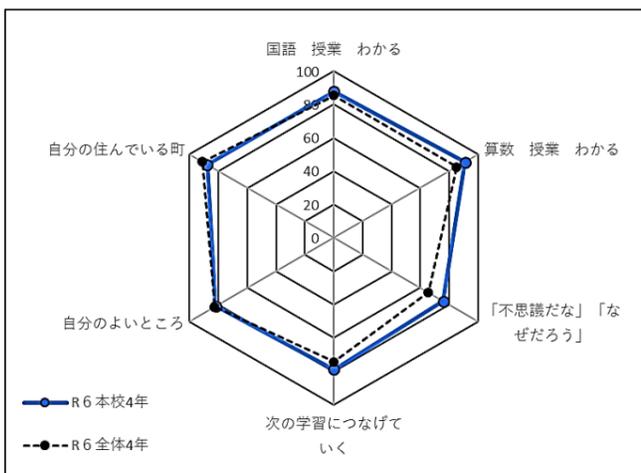
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月9日（火）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標 「つよい子 正しい子 ほがらかな子」
【つよい子（確かな学び、くじけぬ心、健康体力を培う）】主体的な学び合いと習得・活用・探究を通じた質の高い学習の実践
【正しい子（人と地域と自然と共により良く生きる基盤を培う）】人と地域の自然とに主体的に関わり、その良さを生かす学習の推進
【ほがらかな子（自他を認め、尊重する豊かな人間性を培う）】人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進

レーダーチャートの見方

- 「国語 授業 わかる」…国語の授業がわかる。
- 「算数 授業 わかる」…算数の授業がわかる。
- 「不思議だな」「なぜだろう」…ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。
- 「次の学習につなげていく」…わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。
- 「自分のよいところ」…自分には、よいところがある。
- 「自分の住んでいる町」…自分の住んでいる町が好きである。
- 「国語・算数 総合正答率」…国語と算数の全ての問題に対する正答率

令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生



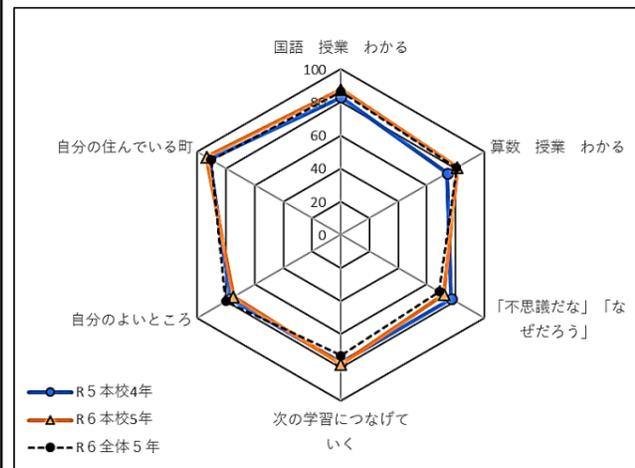
	国語 総合正答率	算数 総合正答率
R6本校4年	67.6	70.8
R6全体4年	68.8	73.7

・学校経営計画の子どもたちの思いを大切にする授業に関する項目『ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある』は、75.8%の児童が肯定的な回答をしています。授業の始めに、子どもたちが問題や活動に取り組む、興味や関心をもって学ぶことができるようにしていきます。この項目については1%の増加を目指します。

・「国語 総合正答率」は、67.6%です。結果から特に、「知識・技能」の「言語・情報・言語文化（言葉の特徴や使い方・漢字の読みなど）」に課題があることがわかります。学んだことを外に発信するなどアウトプットする活動の中で子どもたちが言葉をより豊かに活用できるようにしていきます。

・「算数 総合正答率」は、70.8%です。「数と計算（3桁の足し算・引き算など）」「測定（長さや大きさなど）」の領域においては、児童によって正答率に大きな差が見られました。日々の授業の中でも必要に応じて個別の支援を行っていきます。また、既習の内容をふり返り、いつでも活用することができるように授業で言葉かけをしていきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生



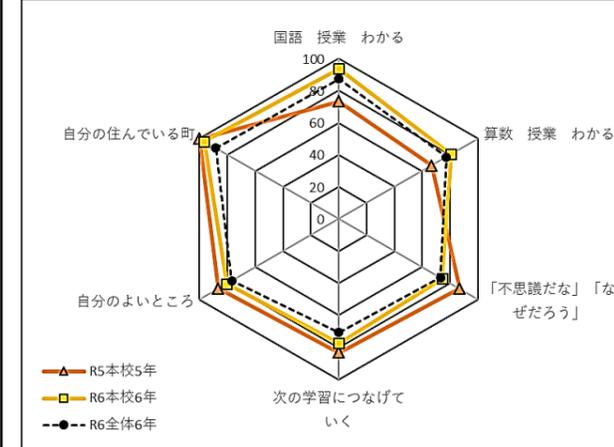
	国語 総合正答率	算数 総合正答率
R6本校5年	70.4	66.1
R6全体5年	62.3	63.3

・学校経営計画の子どもたちの思いを大切にする授業づくりに関係する項目『ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある』は、71.9%の児童が肯定的な回答をしています。昨年度よりポイントは減っていますが、全国のデータと比べて高い値になっています。子どもたちが主体的に取り組む授業を大切にし、今年度より1%の増加を目指します。

・「国語 総合正答率」は70.4%です。どの領域も学習内容を理解している様子が見られました。「言語・情報・言語文化（漢字辞典の索引の使い方を選ぶなど）」の領域について課題があります。授業の中で子どもたちがパソコンだけでなく、必要に応じて辞典を活用することができるようにします。

・「算数 総合正答率」は66.1%です。「数と計算（概数・引き算とわり算など）」「データの活用（折れ線グラフの読み取り・作成）」などでは、学習内容を理解している児童と苦手としている児童に大きく分かれます。今後は社会科など他教科でもグラフの見方や活用について指導していきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 6年生



	国語 総合正答率	算数 総合正答率
R6本校6年	60.9	48.2
R6全体6年	64.4	58.7

・学校経営計画の子どもたちが「わかる」「できる」授業づくりに関係する項目『わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている』の項目では、84.2%の児童が肯定的な回答をしています。子どもたちの主体的に取り組む学習を目指して、これからも自分の意見をもち、伝え合う活動を行い、今年度より1%の増加を目指します。

・「国語 総合正答率」は、60.9%です。特に、「書くこと（人物像の会話を想像して書く・提案文の書き方など）」に課題が見られました。今後は、書いた文章を友達と伝え合い、自分や友達の文章のよいところを見付けることができる学習活動に取り組みます。

・「算数 総合正答率」は、48.2%です。ほとんどの領域において学習内容を理解している児童と苦手としている児童に大きく分かれます。今後は児童の実態を把握して習熟度に合った学習を目指します。

全国学力・学習状況調査 6年生

